

# SEAラウンドトーク

アーティストは今、ソーシャリー・エンゲイジド・アートをいかに捉えているのか？  
一線で活躍するアーティストによるトーク&ディスカッション・シリーズ

Vol.8

## コトからモノへ——芸術の逆行的転回にむけて

ゲスト | 池田剛介

2018年4月26日[木] 18:30-20:30

アートと社会の関係とは何か。近年しばしば見られる問いですが、こうした問題を考える上で、たかだかここ数十年というアート・ワールドの動向を射程とするのではなく、より根本的にその意味を再検討することが重要ではないでしょうか。芸術の持つ、モノを作るという原点に立ち返りながら、制作行為と社会的なものとの関わりについて問うこと。今回、近年取り組んでいる「占拠」をめぐるプロジェクトを一つの参照項としなが

ら、芸術と社会との関係について参加者の方々と共に考えていく予定です。

アートの内外で「モノからコトへ」というスローガンの掲げられて久しい現代において、むしろ「コトからモノへ」という芸術の逆行的な転回可能性を見据えながら、芸術と社会をめぐる問題を新たな角度から考える機会になればと思います。



### プロフィール

池田剛介 Kosuke Ikeda

1980年福岡県生まれ。美術作家。京都造形芸術大学卒業、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。自然現象、生態系、エネルギーなどへの関心をめぐりながら制作を行う。近年の展示に「Malformed Objects——無数の異なる身体のためのプリコラージュ」(山本現代、2017)、「Regeneration Movement」(国立台湾美術館、2016)、「あいちトリエンナーレ2013」、「堂島リバービエンナーレ2011」など。近年の論考に「祝祭から「遊び」へ」(『POSSE』2017年9月号)、「虚構としてのフォームへ」(『早稲田文学』2017年初夏号)、「干渉性の美学へむけて」(『現代思想』2014年1月号)など。  
www.kosukeikeda.net

### お申込み&お問合せ

www.art-society.com

ウェブサイト上に公開する申込フォームよりお申し込みください。

定員 | 20名 (先着順)

料金 | 800円 (コーヒー/資料代込)

※ いただいた個人情報は、適切に責任を持って管理いたします。

主催 | ART & SOCIETY RESEARCH CENTER

NPO法人アート&ソサイエティ研究センター  
110-0005 東京都台東区上野 3-13-9 原田ビル 201

### 会場

アーツ千代田 3331  
地下1階 マルチスペース (B105)

東京都千代田区外神田 6丁目 11-14

東京メトロ銀座線末広町駅 4番出口より徒歩1分  
東京メトロ千代田線湯島駅 6番出口より徒歩3分  
都営大江戸線上野御徒町駅 A1番出口より徒歩6分  
JR御徒町駅南口より徒歩7分  
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分  
JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

